



【校名】 宮城教育大学附属幼稚園



1 特色ある取組

①主体的な遊び「好きな遊び」の充実を図るための環境作り

遊びの土台なる遊びを充実させるために、「好きな遊びの活動」(8:50~11:00)を設定している。遊びが楽しいと感じ、満足感や充実感を得ながら友達と協働して遊びが発展するよう、室内・外の環境構成の工夫に努めている。



【砂場で「わくわくランド」づくり】



【ミニプールで元気に水遊び】



【巧技台を渡ってジャンケン】

②「かかわる力」を育む交流の場の充実

同じ敷地にある小、中学校との交流(幼小連携、職場体験)、特別支援学校との交流、大学の学生ボランティア、ふよう夏祭りでの地域住民との交流、ハワイ大学の学生との交流など様々な交流活動を通して、主体的にかかわる力を育むように継続して取り組んでいる。

③配慮が必要な子どもへの支援

さぼーとルーム(学習支援室)と連携し、個への支援を継続的にしている。



【小学校との交流会】

2 保育の質の向上を目指した園内研修

①定期的に「保育カンファレンス」を実施し、大学の教授とともに幼児理解や環境設定について話し合いを行い、保育の改善を行っている。

②園庭の環境作りや植物や昆虫の観察のさせ方、わらべうたやこま回しの実技研修など子どもたちの活動を充実させるための研修を計画的に実施している。



【保育カンファレンスでのグループ発表の様子】

3 地域への貢献

①公開研究会での保育参観等で、主体的な遊びの実践について地域への情報発信を行っている。

②県内の幼稚園・こども園への校内研修(実技研修)参加や保育参観の受け入れなど各園での保育の質の向上が図れるような研修の機会を設けている。



【他園の教員参加のわらべ歌の研修会】

4 家庭地域との連携

①家庭との連携

「保育参観」「保育参加」「園庭開放」を実施し、園と保護者の双方で、目指す子どもの姿の共有化を図り、子どもの育ちを支援できるようにしている。

②地域との連携

未就園児園庭開放を実施し、子育ての場の提供を行っている。また、園行事等に地域住民に参加してもらい、交流を図っている。



【老人クラブのみなさんとの交流】



所在地 〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉6-4-1

TEL 022-234-0305

担当者 副園長 鎌田ひろみ